

第7次福島県総合教育計画
「学びの革新」
個別最適化された学び、
協働的な学び、探究的な学び

県南教育事務所全体構想
「夢と希望をはぐくむ県南の教育」

令和7年度 白河市立小野田小学校 学校経営・運営ビジョン

白河市教育大綱
「未来を切り開く人間力の育成」

学習指導要領
「生きる力」の育成
確かな学力、豊かな心、健やかな体



本校教育目標
1 健康な子ども 2 すすんで学ぶ子ども 3 正しく判断し、実行できる子ども 4 思いやりのある子ども

＜小野田小の伝統・校風＞
「鍛える、仲良し、きれい」
○目標に向かって「体・頭・心」を鍛え合う学校
○異年齢集団の中で認め励まし合う学校
○緑豊かで環境の整った美しい学校

令和7年度 めざす児童の姿
「自分の考えをもち、伝え合う子ども」

＜保護者の願い＞
○楽しい学校生活を送ってほしい。
○あいさつができるようにしたい。
○友達と仲良く生活してほしい。
○学力を高めたい。



＜健やかでたくましい体の育成＞
健康な生活習慣を身に付け、体力のある子どもを育てます。

◎健康を支える体力づくり

- 1 コーディネーショントレーニングの実施と体育授業の充実
- 2 年間を通したフライデー「マラソン・ドリル・なわとび」の実施
- 3 定期的な記録測定と個別の支援
- 4 体育の日常化を図るための外遊びの奨励

◎健康で安全な生活習慣づくり

- 1 全体計画に基づいた防災教育・放射線教育の充実
- 2 ランチルーム給食や食に関する指導の充実
- 3 メディアコントロールの推進（メディアコントロールデーの実施）
- 4 健康診断等を活用し個に応じた保健指導の充実（う歯、肥満）

フライデーマラソンや体力づくりに取り組む（アンケート90%）

むし歯の治療率（治療報告90%）

メディアコントロールの取組（アンケート80%）

＜学習意欲と確かな学力の育成＞
主体的に学び、確かな学力を身に付けた子どもを育てます。

◎分かる・できる授業づくり

- 1 主体的に学ぶ学習態度の育成
- 2 現職教育を基盤とした指導力の向上
- 3 少人数の良さを生かした授業スタイル「小野田スタンダード」の実施
- 4 習熟の場の確保と個に応じた支援の充実（TT、習熟度別学習、活用力育成シート）

◎学びを支える学習基盤づくり

- 1 教育活動全体を通して「話す」「聴く」を中心とした学習規律の確立
- 2 個別の支援の必要な児童への対応充実
- 3 学校司書と連携した読書活動の推進（学校図書館の活用、ビブリオバトル開催）
- 4 家庭学習習慣化のための家庭学習スタンダードとパワーアップカードの活用

進んで学習に取り組む（アンケート90%）

家庭学習の提出（学年調査90%）

読書の目標ページ数（冊数）達成（調査）

＜自主的・自律的な態度の育成＞
目標をもち、主体的・積極的に行動する子どもを育てます。

◎積極的な生徒指導

- 1 挨拶・返事・言葉づかいなどの礼儀に関する指導の徹底
- 2 「児童生活指導基準」に基づいた規範意識の醸成
- 3 「いじめ・自殺防止基本方針」によるいじめの未然防止と早期発見・早期解消

◎豊かな体験活動

- 1 地域や白河の歴史・文化にふれる体験学習の推進
- 2 委員会・係・当番等、自己の役割や責任をもって活動する場の設定
- 3 キャリア教育の視点にたった活動の充実（キャリアパスポートの活用）

あいさつしたり言葉遣いに気をつけたりする（アンケート90%）

委員会・係・当番の仕事を協力して行う（アンケート90%）

いじめの早期発見・早期解消（学校生活アンケート）

＜豊かな人間性・社会性の育成＞
人を思いやり、感謝する心をもつ子どもを育てます。

◎助け合う学級集団づくり

- 1 いじめ防止と思いやりの心を育てる道徳授業の充実
- 2 Q-Uテスト、教育相談、ケース会議を生かしたきめ細やかな支援
- 3 人間関係を円滑にし、他者と協働して課題を解決できるコミュニケーション力を育てるSSTの充実

◎異学年交流の推進

- 1 低・中・高学年ブロックなど複数学年・複数の教員による指導の場の確保
- 2 本校の伝統を受け継ぎ、互いを尊重する態度を育成する「フレンド班」活動の推進
- 3 自然を生かした緑化・栽培活動の推進

学級生活に満足している（QUテスト満足群80%）

学級・学校が楽しい（アンケート90%）

友達に対して思いやりを持って生活する（アンケート90%）

＜東地区幼保小中連携・PTAとの連携＞
○学力向上委員会→家庭学習の共通実践、授業研究
○ひがし幼稚園との幼小連携事業の推進
○東中学校との小中連携事業の推進
○東地区PTA連絡協議会→メディアコントロールの推進



働き方改革による業務改善と指導力向上

- ・教職員が相互に支え合い高め合う望ましい組織をつくる。
- ・ICTを活用し効率的で充実した研修（事前・事後研）を行う。
- ・DXを推進し、教職員の負担軽減と指導力の向上を図る。

＜家庭・地域との連携＞
○地域学校協働活動事業の推進
○地域素材発掘
○メディアコントロール
○HP・おたより等での情報発信

